

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
321	精神障害者社会復帰施設運営事業	01	一般会計		
		03	民生費		
基本施策	5	障害のある人の自立した生活を支える	01	社会福祉費	
			04	障害福祉費	
担当部課名	伊賀支所 健康福祉課		細目	104	精神障害者社会復帰施設運営事業
作成者氏名	福永 保	連絡先	45-1016	細々目	01
					精神障害者社会復帰施設運営事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	精神障害者とその家族	精神障害者の社会復帰促進のため、授産施設の円滑な運営と障害者の通所の促進を図る。			
本年度内容	精神障害者社会復帰施設運営事業 事(運営補助として月6日以上通所者に対し、月19,000円を施設に補助する) 業伊賀会太陽作業所通所助成事業(公共交通機関利用者1/2・自家用車利用者距離に応じて月額200円～500円)				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市健康福祉部関係補助金等交付要綱 伊賀市中心身障害児等訓練施設通園費助成事業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,011	480	480
需用費			
負担金補助	1,011	480	480
扶助費			
その他		68	68
合計(A+B)	1,731	1,200	1,200
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,731	1,200	1,200
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
授産施設通所者数(運営費)	人	4	5	6			
授産施設通所者数(通園費)	人	5	6	7			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
授産施設通所者数の対象者比率(運営費)	通所者率により、事業の認知度と利用度が推し測れると考える。(対象者 37人)	%	11 目標 (50)	20	25
授産施設通所者数の対象者比率(通園費)	通所者率により、事業の認知度と利用度が推し測れると考える。(対象者 37人)	%	14 目標 (50)	20	25

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

障害者自立支援法の施行に伴い、社会復帰施設のあり方を検討する必要があるが、精神障害者の積極的な社会復帰を推進するには、事業の継続が必要と考える。

評価	必要性	4	事業を現状維持する。 精神障害者の自立支援の一環として事業を啓発・推進する必要がある。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		